



2018年度
「キャンパスライフに関するアンケート調査」
3年次調査結果ダイジェスト

京田辺キャンパス

【1】授業の形態・方法(Q14)



経験したことがある授業形態・方法のトップ3は、昨年度（2017年度）同様、「出欠の確認」「定期的な課題提出」「定期的な習熟度チェック小テスト」。

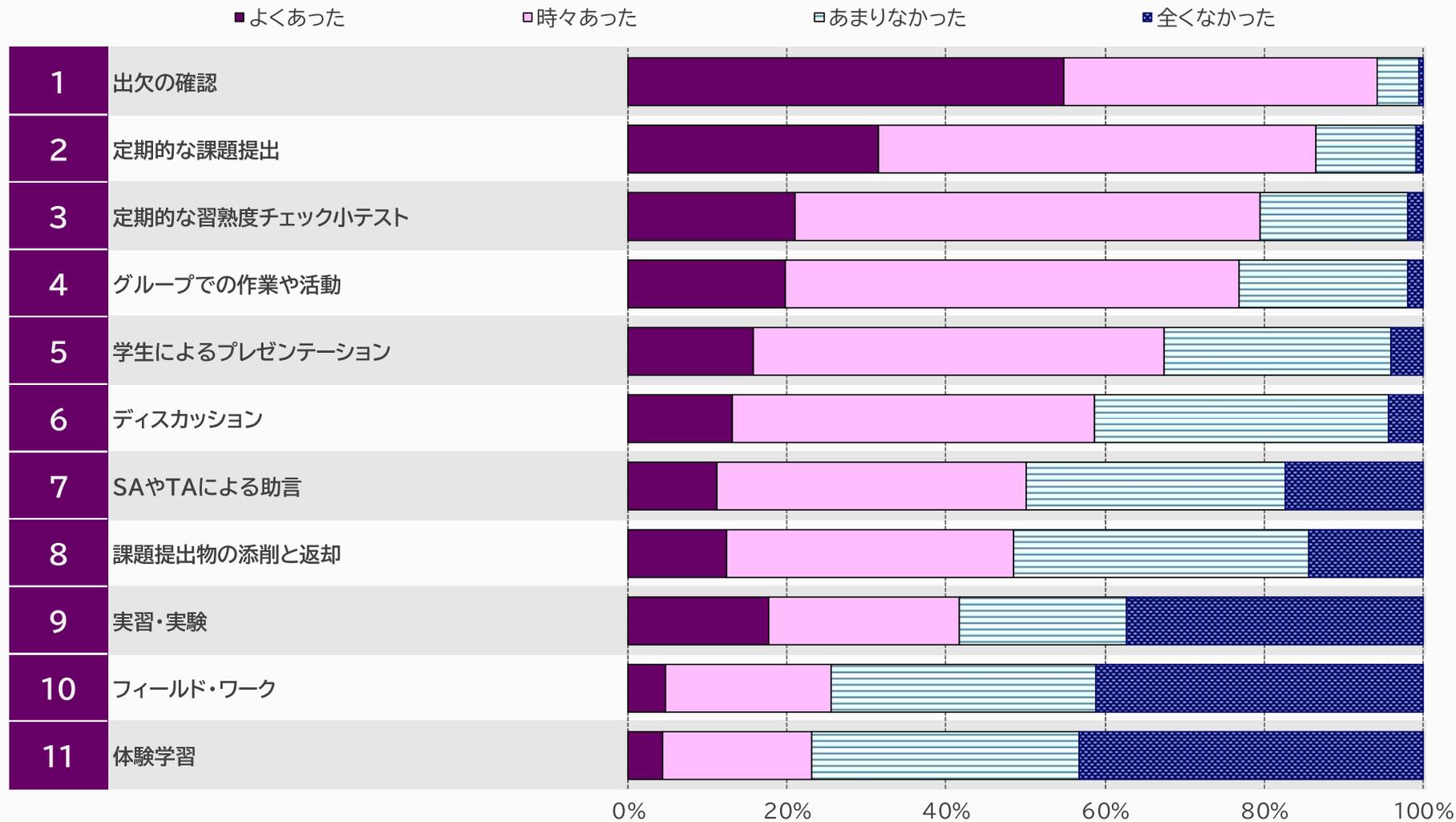


図1 授業の形態・方法

【2】授業に対する取り組み(Q13)



9割以上が課題をきちんと提出。授業では板書されなかったこともノートに取ったり、試験前に時間をかけて勉強する学生も8割を上回る。

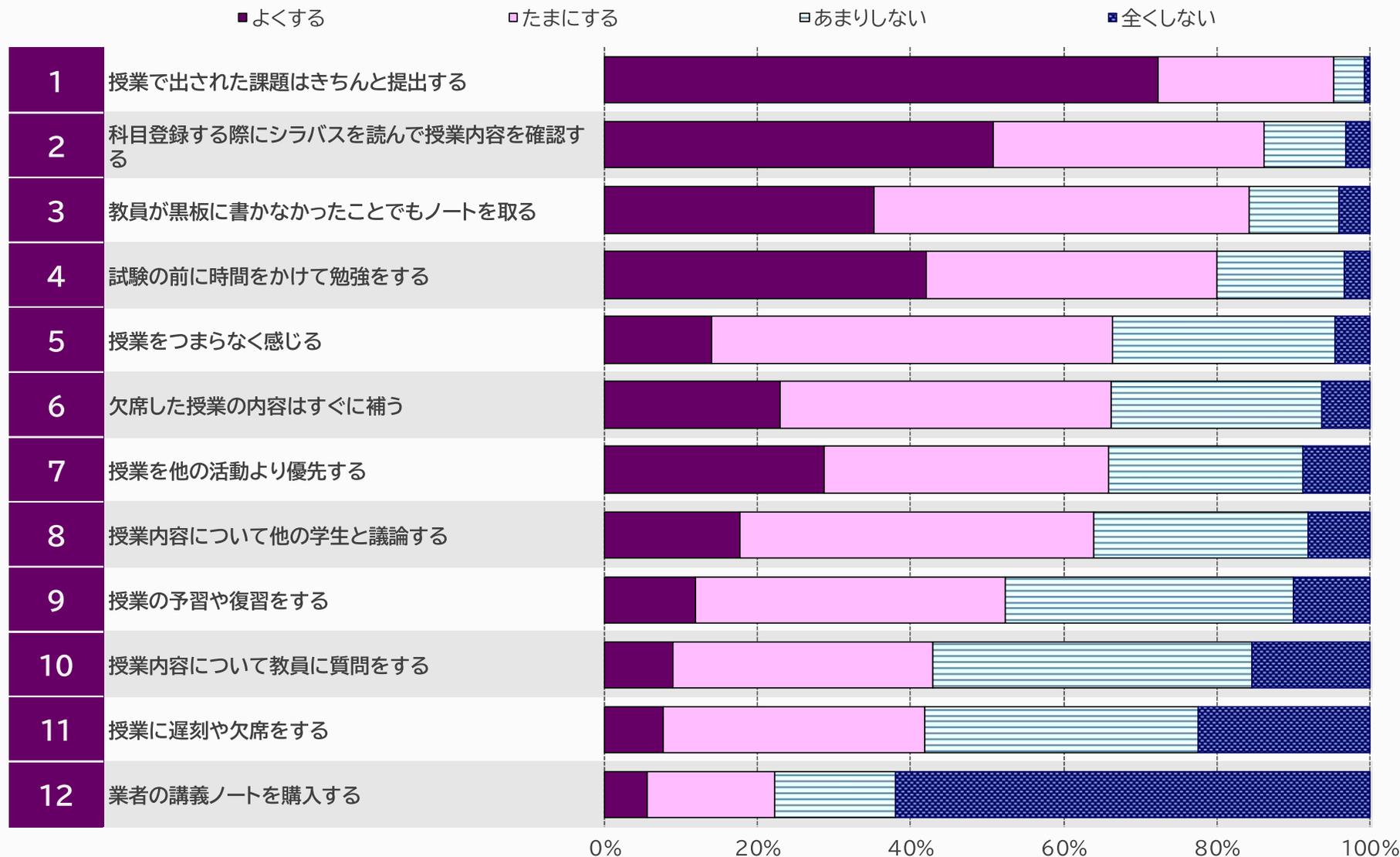


図2 授業に対する取り組み

【3】学習・生活習慣(Q24)



「インターネットで情報を収集した」り、「パソコンを使って文書や資料を作成する」学生は約9割。8割以上が「ゼミや卒業論文、卒業研究に取り組」み、「図書館を利用」している。

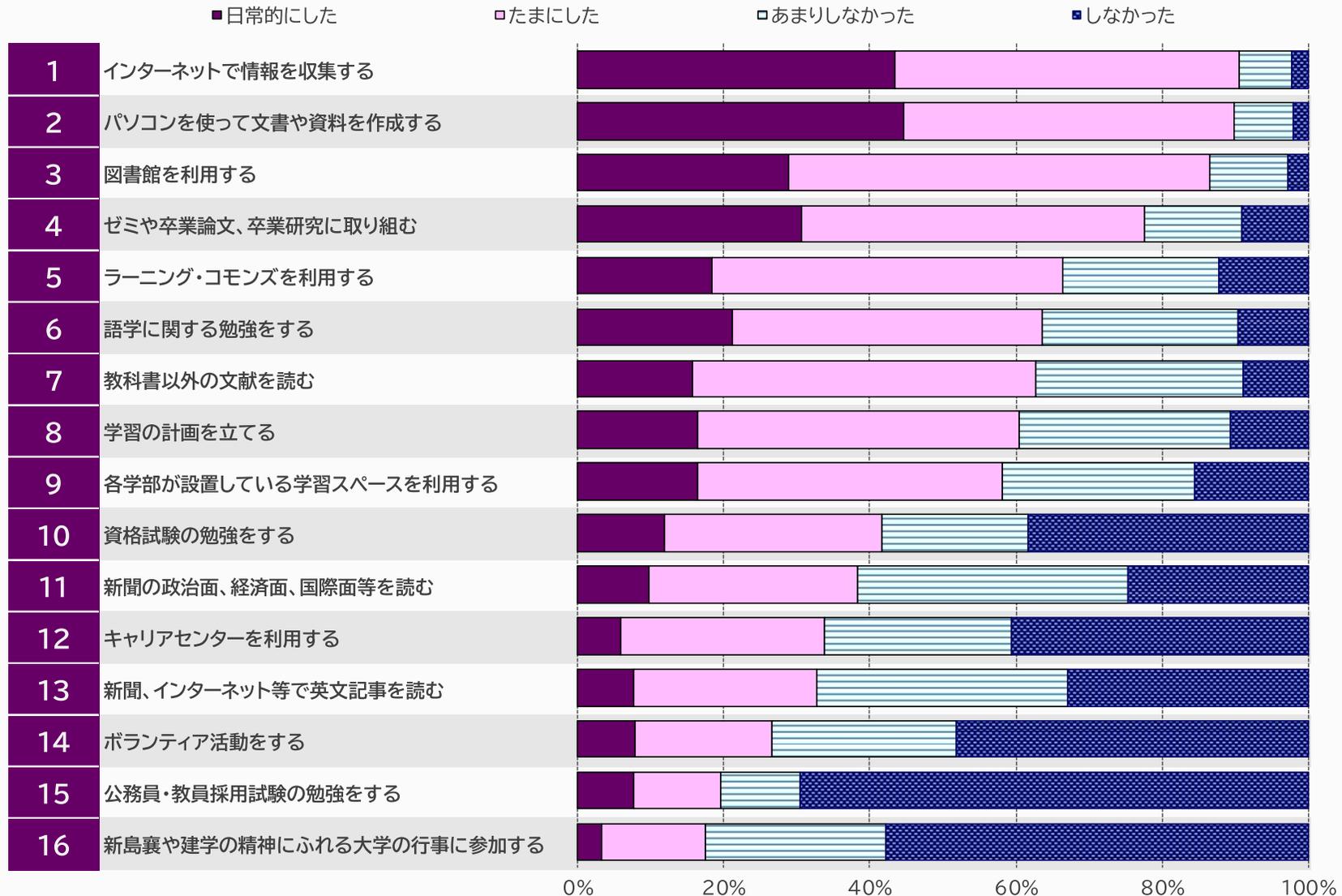


図3 学習・生活習慣

【4】留学等の経験(Q15)



約1割が「大学が提供している海外語学研修プログラム（サマープログラム等）」に参加。

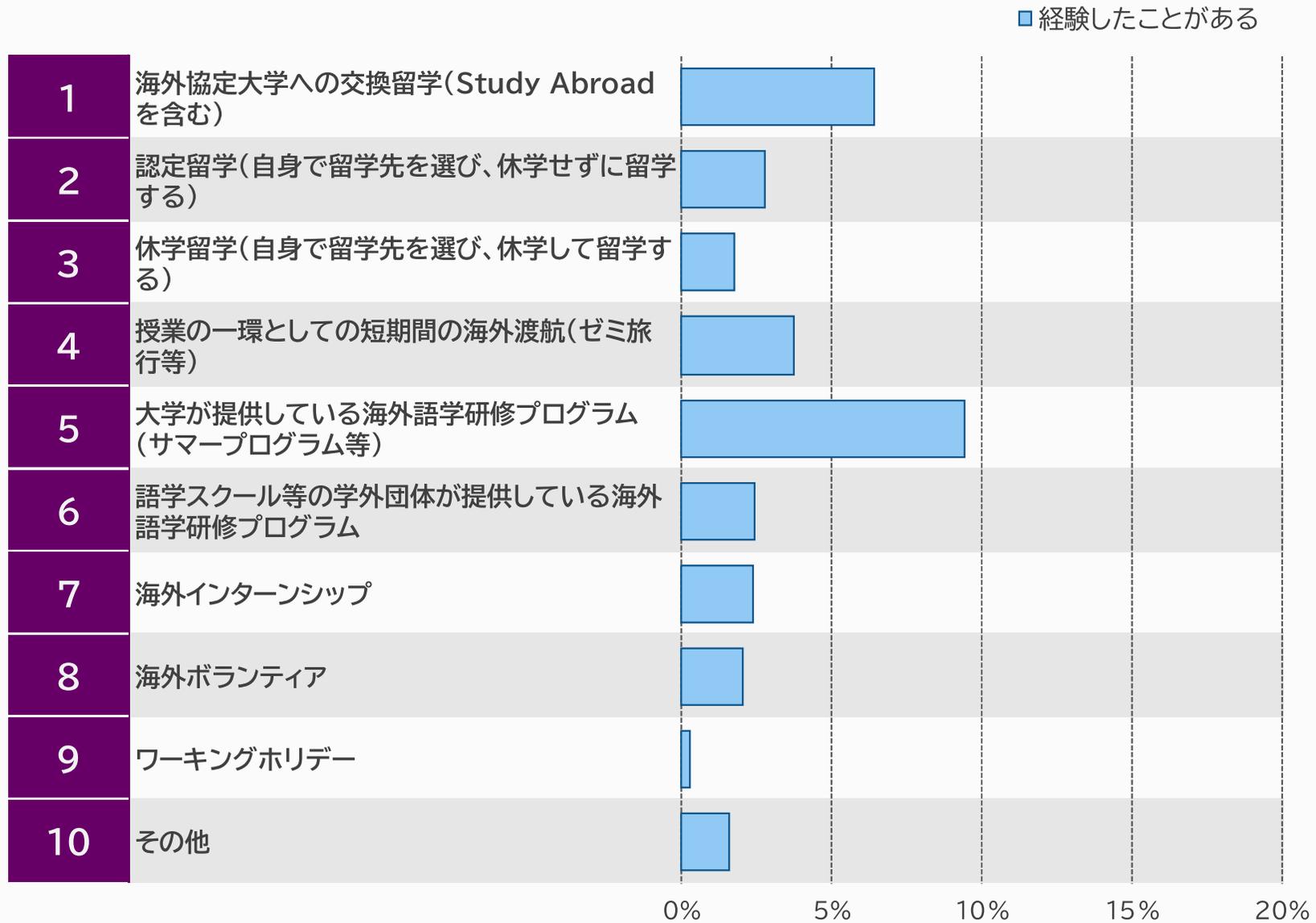


図4 留学等の経験

【5】授業に対する評価(Q16)



昨年度（2017年度）同様、大学での授業が「多様なものの見方にふれること」「探究心を持つこと」「協調性を持つこと」「大学生であるという自覚を持つこと」に役に立ったと感じている学生の割合が高い。

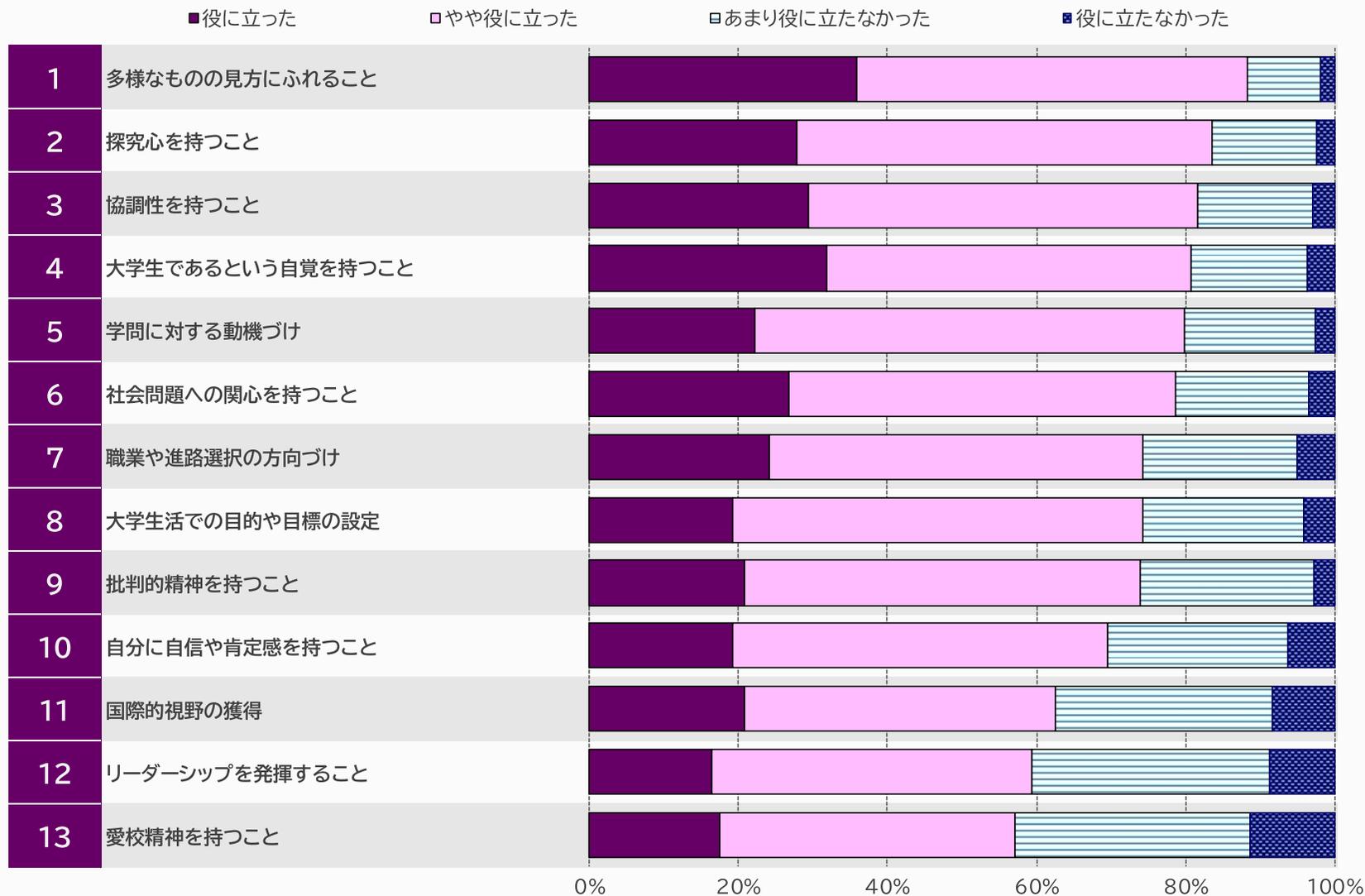


図5 授業に対する評価

【6】大学への適応状況(Q17)



「同じ学部・学科の友人」や「他大学に通う友人」がいる学生は、9割以上。約7割が「大学の一員だと感じ」ている。

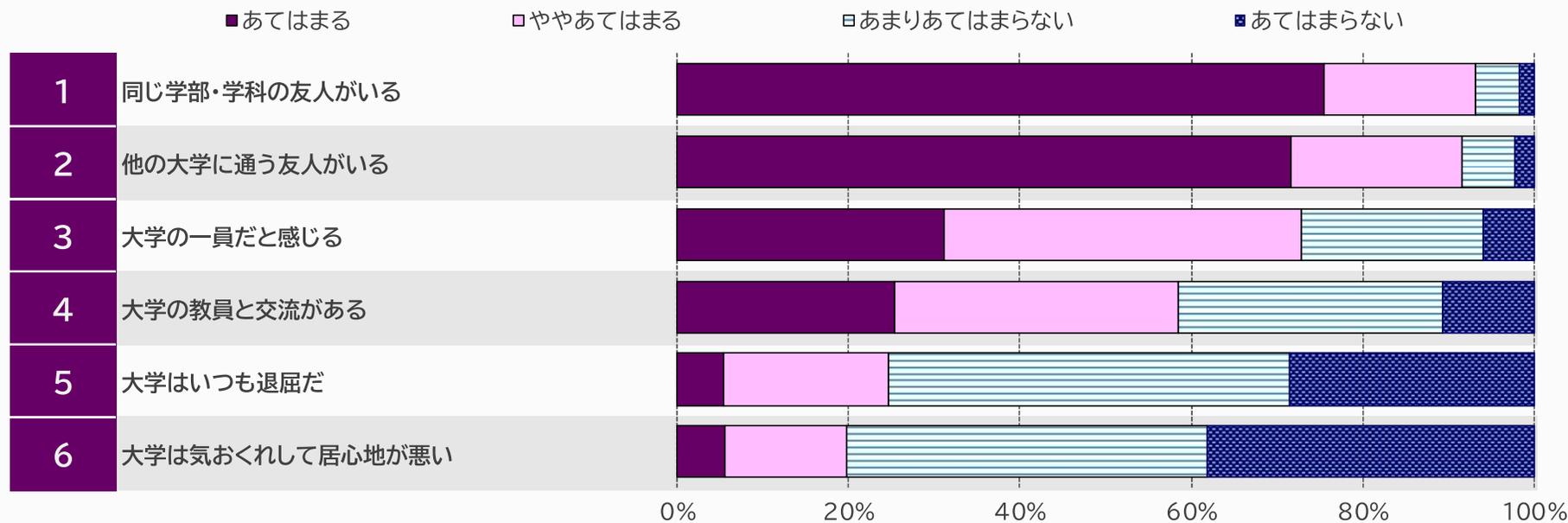


図6 大学への適応状況

【7】生活時間【授業外学習、読書、卒業後の準備、クラブ・サークル、アルバイト、】(Q19・Q20・Q21)



授業外学習時間は週平均4.7時間。一方、「卒業後の進路に向けた活動」の週平均は7.8時間で「9時間以上」費やす学生が3割。平均すると、授業時間外学習、読書、クラブ・サークルよりも、アルバイトや仕事に励んでいる時間のほうが長い。

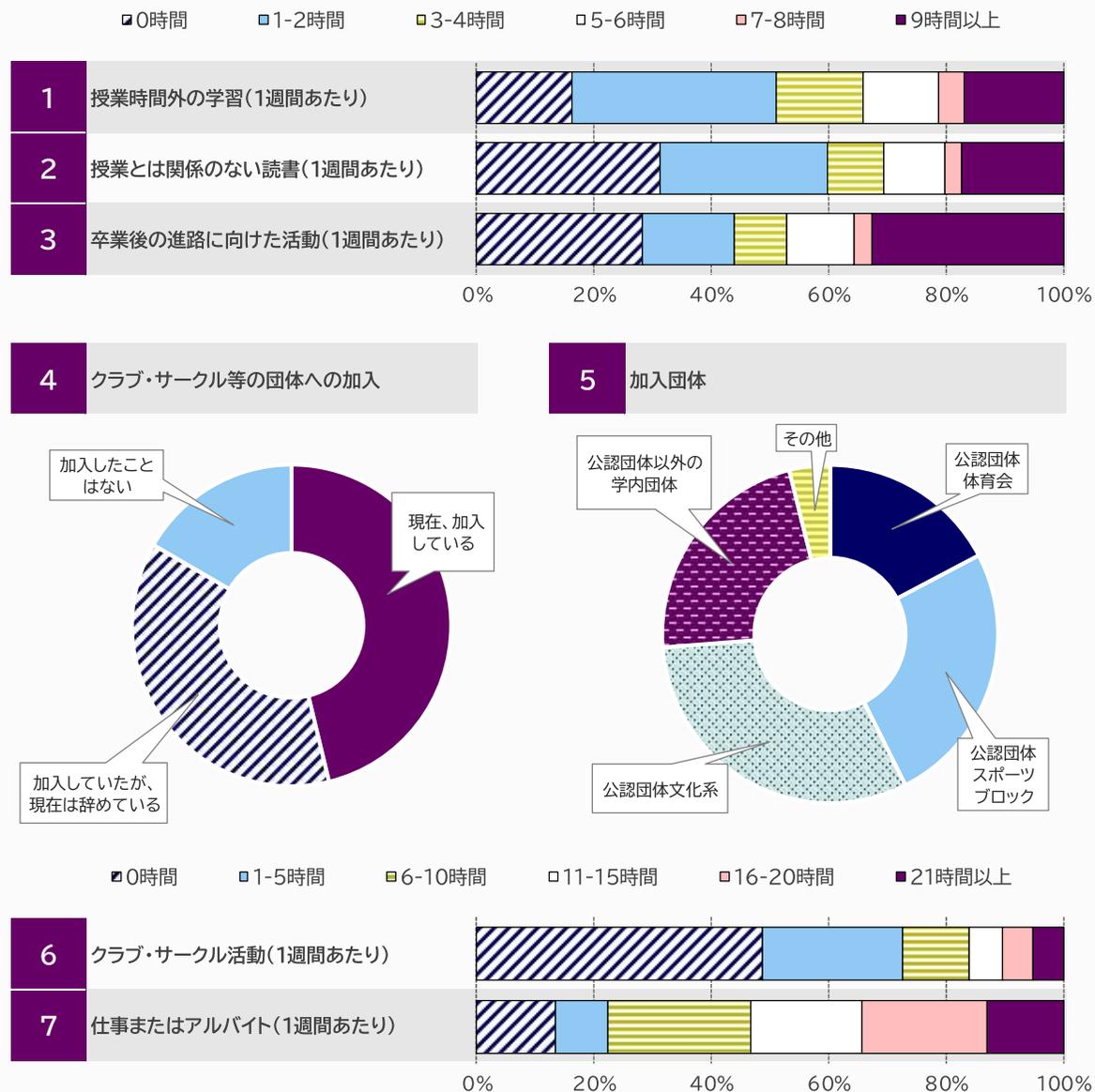
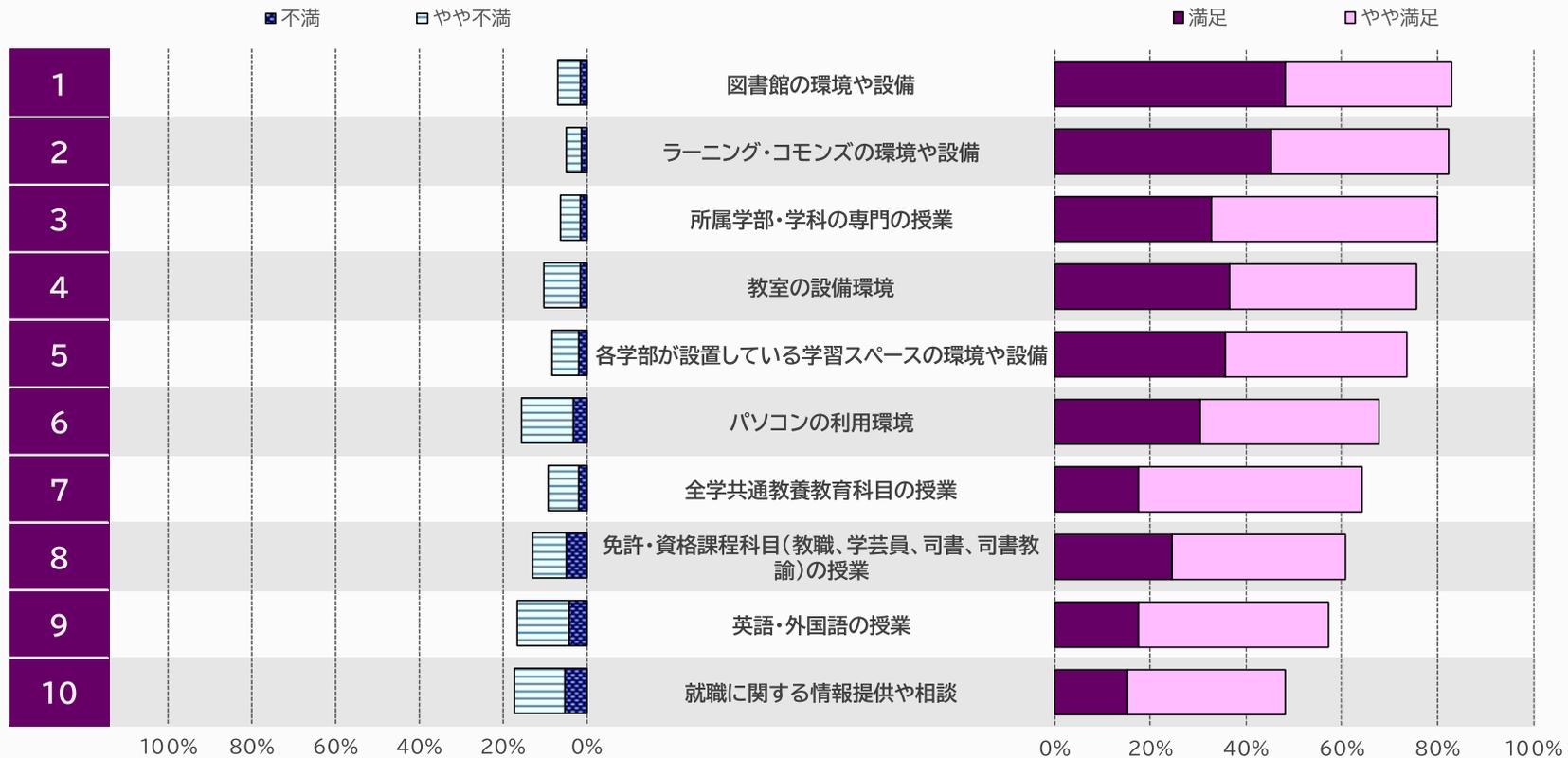
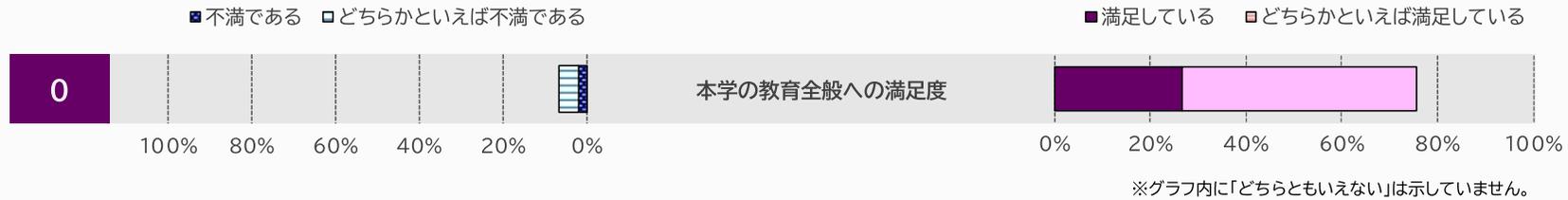


図7 生活時間

【8】満足度(Q22:大学教育全般の満足度、Q10:領域別満足度)



7割以上が、本学の教育全般に満足。所属学部・学科の専門の授業や、図書館やラーニング・commonsといった学習スペースへの満足度は8割に達している。



※「わからない(履修・利用していない)」を除いて集計しています。また、グラフ内に「どちらともいえない」は示していません。

図8 大学教育全般、領域別の満足度

【9】大学に対する愛着(Q23)



昨年度（2017年度）同様、9割近くの学生が、大学に愛着を感じている。

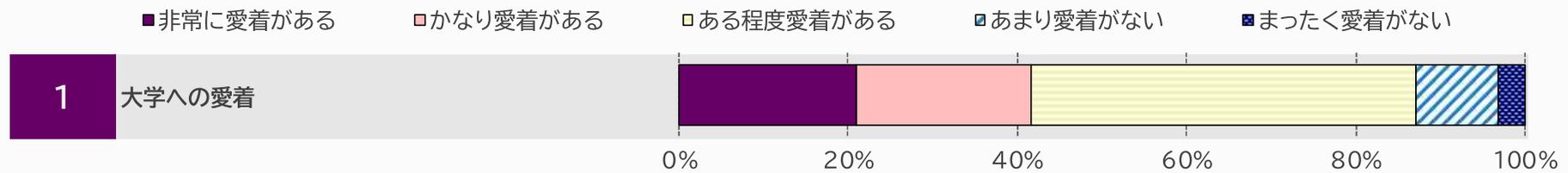


図9 大学に対する愛着

【10】希望する進路(Q26)と考え始めた時期(Q27)



卒業後の進路として、男女とも「民間企業・自営業」を希望している学生が多い。「大学院」進学希望者は、男性で約2割、女性では約1割。進路について真剣に考え始めた時期は、男女とも3年次に入ってからが最も多く、約7割を占める。

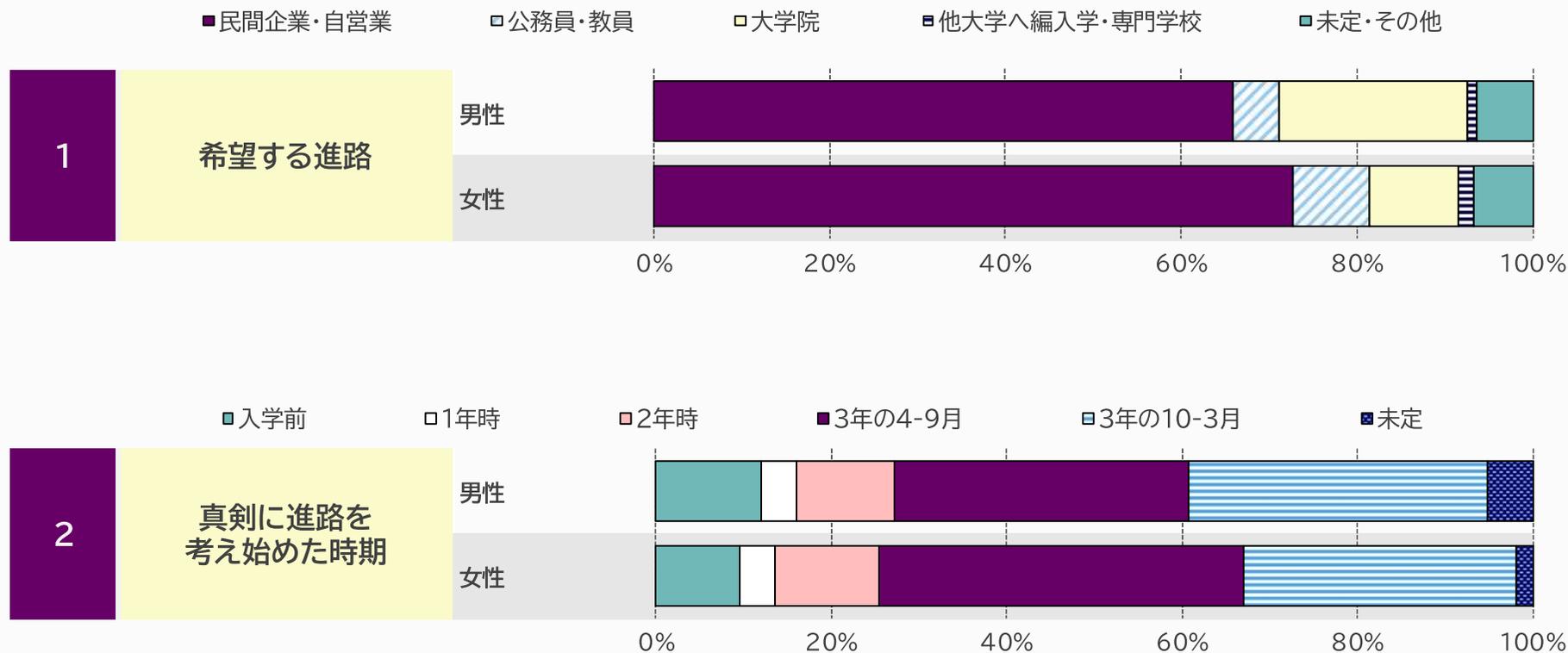


図10 希望する進路と考え始めた時期

■ 調査対象 [有効回答率]

- ▶ 2016年度入学生(3年次)全員 [31.0%]

■ 実施方法

- ▶ 学内LMSのアンケート機能を用いたWeb調査
- ▶ 紙媒体の調査票による調査

■ 実施期間

- ▶ 2019年3月下旬(秋学期成績通知日)～5月末